

授業科目名 <英訳>	東洋史学(特殊講義) Oriental History (Special Lectures)			担当者氏名	人文科学研究所 准教授 矢木 毅				
配当学年	3回生以上	単位数	4	開講期	通年	曜時限	木1	授業形態	特殊講義
題目	朝鮮後期政治外交史の研究(19世紀)								
【授業の概要・目的】									
朝鮮後期(17~19世紀)における政治史・外交史を概観し、近世朝鮮社会の特質について考察する。漢文史料の読解能力を高めるとともに、東アジア世界との連関のなかにおいて朝鮮社会への理解を深めることを目的とする。									
【授業計画と内容】									
【前期】 前期は純祖・憲宗・哲宗朝における「勢道政治」の展開と、それに反発して起こった「民乱」の諸相について考察する。主な話題は次のとおり(各テーマについて3~4週の授業をする予定)。 (純祖朝) ・辛酉教難(1801) ・辛未洪景来の乱(1811) (憲宗朝) ・己亥教難(1839) (哲宗朝) ・壬戌三南の民乱(1862) 【後期】 後期は高宗朝における開化政策の展開とその挫折について考察する。主な話題は次のとおり(各テーマについて3~4週の授業をする予定)。 (高宗朝) ・丙寅の教難と洋擾(1866) ・辛未洋擾(1871) ・壬午軍乱(1882) ・甲午更張(1894) なお、毎回の講義において典拠史料を例示し、講読・演習の要素を加味する。『朝鮮王朝実録』や『壬戌録』などの官撰史料、および『梅泉野録』、『騎驢隨筆』などの野史史料が対象となる。									
【履修要件】									
中国古典文(漢文)の基礎的な読解能力を身につけていることが望ましい。									
【成績評価の方法・基準】									
成績評価は平常点によって行う。平常点は出席状況、漢文講読、および授業内容の理解度(質疑応答)などによって総合的に評価する。									
----- 東洋史学(特殊講義)(2)へ続く -----									

東洋史学(特殊講義)(2)

[教科書]

講読史料、レジュメ等のプリントを事前に配布する（一週間前の授業時に配布）。

[参考書等]

（参考書）

武田幸男 『朝鮮史』（山川出版社）ISBN:9784634413207

李成茂 『朝鮮王朝史 上』（日本評論社）ISBN:9784535582989

李成茂 『朝鮮王朝史 下』（日本評論社）ISBN:9784535582996

（関連URL）

<http://sillok.history.go.kr/>(朝鮮王朝実録（電子版）)

（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。